

## こども部会からの報告

- 本部会での議論・検討状況について、以下のとおり報告する。
  - これまでの議論の整理
  - 新潟市障がい者地域自立支援協議会 こども部会  
重症心身障がい児(者)ワーキンググループ

※なお、現時点において、本部会の議論の中では、一定の結論を得るまでに至らず、今後、引き続き議論していかねばならないため、部会において議論を継続する。

# これまでの議論の整理

※第7回こども部会までの議論を整理したもの

# 目次

(Ⅰ) 乳幼児期(0～6歳) ……P4

① 障がいの診断・告知

② その他

(Ⅱ) 学齢期(6～15歳) ……P6

(Ⅲ) 重心に関わること ……P8

(Ⅳ) 学童保育に関わること ……P9

項目	これまでの議論の整理
<p data-bbox="232 284 672 325">( I ) 乳幼児期 ( 0 ~ 6 歳 )</p> <p data-bbox="237 373 667 414">① 障がいの診断・告知</p>	<p data-bbox="824 300 1137 341">&lt;これまでの議論&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="824 367 1989 450">○ 新潟市では、乳幼児健診として、3か月、10か月、1歳6か月、3歳に健診を実施している。</li> <li data-bbox="824 549 1944 590">○ 障がいの診断、告知が早期に行われるようになり、心のケアが必要。</li> <li data-bbox="824 683 1993 766">○ 親はこどもに障がいがあることを認めたくない傾向にある。また、専門機関を受診することに抵抗がある。</li> <li data-bbox="824 865 1617 906">○ 診断を受けた後、親と子により添う体制がない。</li> <li data-bbox="824 999 1971 1082">○ 診断後、つなげるところが幼児ことばとこころの相談センター1ヶ所しかない。</li> <li data-bbox="824 1155 2002 1238">○ 「気になる子」が地域の保健師につながっていない。どこにつなげれば良いのか分らない。</li> <li data-bbox="824 1311 1989 1394">○ 「様子をみましょう」と健診で言われても、誰がどう責任を持っていくのか不明。関係者で情報共有できるネットワークが必要。</li> </ul>

項目	これまでの議論の整理
<p data-bbox="232 284 674 325">( I )乳幼児期(0～6歳)</p> <p data-bbox="248 371 443 413">② その他</p>	<p data-bbox="824 300 1137 341">&lt;これまでの議論&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="824 368 1977 448">○ 知的障害児通園施設が市内に1つしかなく広域から通園している状況, できればもう一つ通園施設がほしい。</li> <li data-bbox="824 549 1977 639">○ どこかの機関がかかわっている人には就学指導が入りやすい。かかわる機関がない親は余裕がない。</li> <li data-bbox="824 740 1995 820">○ 保育所や子育て支援センターのスタッフへ保健師が支援していただけるとよい。</li> <li data-bbox="824 920 1671 962">○ ワンストップで相談を受けられる場所があるとよい。</li> <li data-bbox="824 1062 1977 1142">○ 重度の子どもが地域で暮らすためのサービス(ヘルパー・訪問看護)が不足しているので, 充実できるとよい。</li> </ul>

項目	これまでの議論の整理
<div data-bbox="215 264 741 341" style="border: 1px solid black; background-color: #e0f2f1; padding: 5px;">(Ⅱ)学齢期(6～15歳)</div>	<p data-bbox="824 300 1137 336">&lt;これまでの議論&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="824 363 1973 440">○ 区の教育事務所に相談担当指導主事を配置し、保育所を訪問したりしている。</li> <li data-bbox="824 531 1973 608">○ 重症心身障害児指定医療機関が満床であり、在宅で暮らしている子どもが増えている。</li> <li data-bbox="824 699 2002 775">○ 発達障がいも含めて、精神障がい者の年齢が若年化している。またそのような子どもの行き場が少ない。</li> <li data-bbox="824 866 1733 903">○ 学齢期のころから社会に出るための訓練をするとよい。</li> <li data-bbox="824 994 1890 1031">○ 小学校に上がるときに保健師の支援が終わり、情報が途切れる。</li> <li data-bbox="824 1121 1727 1158">○ 学校では、先生のスキルを上げるように努力している。</li> <li data-bbox="824 1249 1464 1286">○ 学校間で取り組みに温度差を感じる。</li> <li data-bbox="824 1377 1872 1414">○ 放課後支援、休日や長期休暇の日中一時支援が不足している。</li> </ul>

項目	これまでの議論の整理
<p data-bbox="215 264 741 341">(Ⅱ)学齢期(6～15歳)</p>	<p data-bbox="824 300 1137 336">&lt;これまでの議論&gt;</p> <ul data-bbox="824 368 2007 999" style="list-style-type: none"><li data-bbox="824 368 2007 448">○ 担任が家庭の情報を得るがどこへ、どのように相談したら解決するのかわからない。</li> <li data-bbox="824 549 2007 628">○ 小学校の先生は地域保健福祉センター(保健師, ケースワーカー)に相談できることをあまり知らない。</li> <li data-bbox="824 729 2007 809">○ 服薬の提案をしたいが、家族の反発が強い場合がある。上手く医療に繋ぐことが課題。</li> <li data-bbox="824 909 2007 989">○ 診断をした医療機関が関わっていかねばならないが、現状はそうなっていない。</li></ul>

項目	これまでの議論の整理
<p data-bbox="215 264 741 341">(Ⅲ) 重心に関わること</p>	<p data-bbox="824 300 1137 341">&lt;これまでの議論&gt;</p> <ul data-bbox="824 367 1872 542" style="list-style-type: none"><li data-bbox="824 367 1469 408">○ ケアマネジメントが確立していない。</li><li data-bbox="824 501 1872 542">○ 具体的なサービス(ショートステイ、送迎、GH等)の整備が必要。</li></ul>



項目	これまでの議論の整理
<p data-bbox="215 264 741 341">(IV)学童保育に関わること</p>	<p data-bbox="824 300 1137 341">&lt;これまでの議論&gt;</p> <ul data-bbox="824 368 1989 767" style="list-style-type: none"><li data-bbox="824 368 1989 448">○ 発達障がいの理解不足のため、二次障害、三次障害が起きるようであれば問題ではないか。</li> <li data-bbox="824 549 1989 628">○ 自力で通うことが前提となっているので通えない子の対応はどうすればよいのか。福祉のサービスで全てを賄うことは困難。</li> <li data-bbox="824 729 1608 767">○ 学校と学童保育で工夫をして歩み寄れないか。</li></ul>

(参考)

### 開催経緯

- 第1回 日時：平成21年 9月30日 (水)  
議題：各委員が抱えている課題について、今後の議論の進め方について
- 第2回 日時：平成21年11月25日 (水)  
議題：乳幼児期における支援について
- 第3回 日時：平成22年 1月28日 (木)  
議題：乳幼児期における支援について
- 第4回 日時：平成22年 3月25日 (木)  
議題：乳幼児期における支援について、学齢期における支援について
- 第5回 日時：平成22年 5月27日 (木)  
議題：学齢期における支援について
- 第6回 日時：平成22年 7月22日 (木)  
議題：学童保育における課題について
- 第7回 日時：平成22年 9月 2日 (木)  
議題：全体会に向けてのこれまでの議論の整理 (概要) について、重症心身障がい児 (者) ワーキングについて

## 新潟市障がい者地域自立支援協議会 こども部会 委員名簿

(敬称略・順不同)

NO	区分	関係機関	所 属	職名・役職	(フリガナ) 氏 名	備考
1	部会長	相談支援事業者	(社福) 更生慈仁会 障がい児・者相談支援センター	相談支援専門員	ホンダ ユリコ 本田 ゆり子	
2	部会長 代理	相談支援事業者	(社福) 新潟しなの福祉会 地域生活支援センターふらっと	相談支援専門員	サカイ ショウエイ 坂井 省英	
3	委員	障害福祉サービス事業者	NPO法人のんびり青山の会 のんびり青山/のんびりサックス	総括所長 (管理者)	テラグチ ヨシヒロ 寺口 能弘	
4	〃	重症心身障害児 指定医療機関	独立行政法人国立病院機構 西新潟中央病院	療育指導室長	ノサキ マサユキ 野崎 雅之	
5	〃	発達障がい支援センター	新潟市発達障がい支援センター	相談員・主任	ワタベ ミツル 渡辺 満	
6	〃	教育委員会	新潟市教育委員会学校支援課 特別支援教育班	指導主事 (副参事)	ワシツ タカシ 鷺津 毅史	
7	〃	特別支援学校	新潟市立東特別支援学校	教諭	オサダ ノリコ 長田 則子	
8	〃	知的障害児通園施設	新潟市立ひしのみ園	園長 (副主幹)	テジマ カヨ 手嶋 佳代	
9	〃	児童相談所	新潟市児童相談所相談判定係	児童心理司 (主事)	オカノ ユウコ 岡野 由布子	
10	〃	行政 (保健師)	新潟市保健所健康衛生課母子・歯科保健係	保健師 (係長)	フジノ シツコ 藤野 志津子	

# 新潟市障がい者地域自立支援協議会 こども部会 重症心身障がい児(者)ワーキンググループ

## 1. 設立の経緯

重症心身障がい児(者)の支援について、こども部会において処遇困難事例等から課題の検討を行ったところ、支援の充実や関係機関との連携の必要性からワーキンググループの設立が発案された。

## 2. 協議内容(案)

- ・ 重症心身障がい児(者)が安心して地域生活を送るために必要な体制づくり等について協議を行う。
- ・ 医療行為を要する重症心身障がい児(者)が安心して利用可能な日中活動の場の確保について協議を行う。
- ・ 各機関が抱える処遇困難事例等から課題を抽出し、整理できるところから整理する。
- ・ その他、重症心身障がい児(者)に係る課題について幅広く議論を行う。

## 3. 運営方法(案)

- ・ 会議の開催、運営は議長の責任により行う。
- ・ 会議はおおむね2か月に1回程度。(会議室は市役所本庁舎内会議室を想定)
- ・ 協議の内容について、こども部会及び行政に報告する。
- ・ 委員候補は、相談支援事業者、障害福祉サービス事業者、入所・通所施設、医療・教育機関関係者、児童相談所等。